

かに!!

いらないというか、共通言語があるように思うのです。

鍼灸も、柔道がきっかけです。練習や試合で、当然筋肉を傷めたり、体にいろんな不具合が生じると、鍼灸院へ行って治療してもらっていたので、子どものときから身近にありましたね。

森ノ宮とは、私の通っていた鍼灸院の院長先生が、尾崎朋文先生と大阪鍼灸専門学校(現 森ノ宮医療学園専門学校)の同期卒業ということで、よく森ノ宮のお話を聞いていたので、保育士から鍼灸師になろうと考えたときに、まず森ノ宮に入りたい! と、受験しました。

❁ 小児鍼を古巣の保育園でやりたい

保育士だったので、学生時代に清水尚道先生たちがおやりになっていた小児鍼には興味がありました。

卒業後、勤めた治療院の院長先生が小児鍼で実際に子どもたちを治療されているのを見て、すごいなあとその効果をさらに間近で実感して、私も子どもたちに小児鍼をさせてもらいたいなあと思うようになったのです。保育園では、お昼寝させるのが大変だったり、感情をうまく表せないとか、保育士さんや親御さんたちの大変さがわかっていましたから。でも、そうそう周りに小さな子どもがいっぱいいるわけではないし…。それで、園長先生に、保育園でやらせていただけないかと、お願いをしたのです。

❁ 保護者の皆さんに小児鍼を理解してもらうために

まず小児鍼とはどういうものか資料を作って、参観日に保護者の方々にプリントを配布しました。それから小児鍼って具体的にこういうものだと実際にやってみて、わかっていただくようにしました。文字で“鍼”と書いているだけだと、やっぱり刺すもので、痛いと思われてしまうでしょう? だからお母さん方の手に鍼をして、それからお子さんにやらせてもらったりしました。そうすると、お母さん方も小児鍼がどういうものかわかるし、子どもたちは怖がったりも痛がったりもしない。それで、改めてアンケートを採って、小児鍼をやってくださいとおっしゃるご家庭のお子さんだけにさせていただくようになったのです。

園長先生がご理解ある方だったのが一番でしたが、かつての同僚だった保育士さんも見守ってくださっていて、本当に感謝しています。

❁ 子どもたちの反応、保育士さん、保護者の方からの報告の三位一体で

現在、同系列の2つの保育園で、毎週火曜日、0歳~1歳児16人ずつ、2歳~5歳児を4人ずつ、合計40人の園児に小児鍼をしています。基本的には、膝に抱っこしてするようにしています。子ども



0~1歳児
クラスで

たちの状態は毎回違いますが、保育士の経験で、気が散ったり、こんなときはこうしたら良いと感覚的にわかるので、臨機応変に対応できます。そんなとき、保育士になってよかったと思いますね。

手技は治療院で院長先生がされているのを参考にして、また清水先生はじめ研究会や勉強会で先生方がなさっているのを見て、自分なりに試行錯誤してやっています。

保護者の方や保育士さんたちからは、小児鍼を受けたあとどうだったか、「よく寝た」「機嫌が良い」「かえって夜鳴きがひどかった」とか、きちんとその後の状態を丁寧に報告していただくので、それを受けて、強さや時間を加減するようにしています。

❁ 公私ともに同級生が良き伴侶に

8月に、森ノ宮のクラスメイトと結婚、入籍し、一緒に治療院を始めました。もう大忙しでした。

鍼灸師として保育園におじゃまして治療をするという、今のスタイルがいいので、週1回の小児鍼治療はずっと続けていくつもりです。治療院ではおじいちゃん、おばあちゃんや地域の方々に治療して楽になっていただけるのが嬉しいです。0歳から80歳といういろんな年齢の方々に接することができて、鍼灸師の道を選んでよかったと思っています。

週1回、奈良に来るときは、実家にも寄れますし、夫婦喧嘩したときなんか、ちょうどいいかなあと(笑)。そのうち、私にも子供ができて、子育てするときに、小児鍼を生かせるし、親となったら小児鍼ももっと深く、もっと幅を広げられるのではないかと考えています。楽しみです。

さんわ鍼灸整骨院 伊丹診療所

〒664-0851
兵庫県伊丹市中央
4-4-17 林ビル1階
【Tel】 072-772-5500
【アクセス】 阪急電鉄伊丹駅下車、南へ徒歩3分

